

年頭のごあいさつ



上士幌町長

竹中 貢

新年あけましておめでとうございます。

町民のみなさまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より町政運営にあたたかいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、東日本大震災から2年9カ月余りが過ぎましたが、未だ被災地再生の行方が見通せません。そんな中、地元プロ野球球団である東北楽天ゴールデンイーグルスの活躍は、被災地に大きな感動と勇気を与えてくれました。また、2020年に東京オリンピックの開催が決定するなど、今後のスポーツ界に期待するところです。

政権交代から1年、政府は好循環・持続的成長の経済対策を推進する一方、国民には消費税をはじめ諸負担増の方向にあります。地域経済に波及効果の大きな施策と生活弱者対策を強く求めるところであります。また、農業をはじめ地域経済の盛衰に直結する環太平洋経済連携協定(TPP)交渉が越年協議となり、その動向を注視するところであります。

町内産業におきましては、基幹産業の農林業をはじめ商工業や観光など、それぞれ厳しい環境にあります。各団体や関係のみなさま

の果敢な取り組みとご尽力によりその振興が図られております。関係の方々に敬意と感謝を申し上げますとともに、引き続き、町として支援、連携した施策を推進してまいります。

さて、本町のまちづくりにつきましては、第5期上士幌町総合計画を基本に推進中であり、3年目の今年は、特に「子育て」「教育」「地域包括ケア(医療・介護・福祉等)」を重点テーマに推進してまいります。

また、老朽公共施設の再編整備に向けては、コンパクトでにぎわいのある街中空間を目指し、検討と整備を進めているところです。

上士幌保育所につきましては、幼稚園機能も備えた「認定こども園」として、平成27年4月の開園をめざし、整備を予定しております。生涯学習センターについては、学童保育や陶芸などの機能を加えた複合施設として、町民のみなさまのご意見を更にいただきながら、整備に向けた準備を進めてまいります。

一方、福祉・医療関係では、医療法人北斗「上士幌クリニック」(旧「十勝恵愛会病院」)が老人保健施設を併設する形で移転新築を予定し、上士幌福寿協会では、地域密着型特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護施設などの整備が予定されております。地域包括ケアの充実に向けて、町としてもできる限りの支援をしてまいります。

結びに、町民のみなさまの一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、みなさまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成26年 午年



上士幌町議会議長

杉山 幸 昭

町民のみなさま、新年明けましておめでとうございます。

平成26年の年頭にあたり、上士幌町議会を代表し謹んで新春のご挨拶を申し上げます。併せて、町議会に対する日頃のご理解とご協力に対しましてもお礼申し上げます。

昨年度の議会活動として特徴的な取り組みとしましては、町が新たな政策として検討を進めております、「認定こども園」の開設について、議会として制度の理解を深めるために、札幌市内の私立と公立の施設を訪問しました。また、新たな施設の建設も今年計画されていることから、置戸町と足寄町の施設を視察しました。これらの成果を十分に活かして行政側と意見交換を図りながら、町民のみなさまに満足頂ける施設建設と、独創的な運営が実施されるように、鋭意努力いたします。

その他に今年、これまで上士幌町の医療の拠点となってきた「上士幌クリニック」の移転新築や、上士幌町生涯学習センターの改築計画の策定等、今後の上士幌町の医療や福祉、生涯学習に重要な役割を果たす施設です。

ので、議会としても町民のみなさまのご意見が充分反映されるように、配慮して参りたいと考えております。

さて、今年4月からは、消費税が8%に引き上げられます。各個人の生活への影響はもちろんです。自治体財政にもどのような影響を及ぼすのか、議会として、町民生活を守るという立場で、十分な対応が図られるように活動していきたいと考えております。

そのような重要な国策が決定される国会ですが、議会改革が積極的に行なわれている地方議会に比べて、一票の格差解消など具体的な国会改革が依然として進んでいないと感じています。今こそ政治に対して、多くのみなさまに感心を持って頂きたいと願うものであります。私も町議会議員一同も、町民のみなさまの声が町政に反映されますように、日常生活に精進する所存ですので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

結びとなりますが、町民のみなさまにとりまして、健康で実り多い良い年になりますよう、ご祈念申し上げます。

